令和3年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価 【小規模多機能ホーム 砥部オレンジ荘】

- ◆自己評価 事業所自己評価・・・・・・・・・・(事-①~⑨)
- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

実施 日 令和 3年12月23日(18:00~20:30)

メンバー 6人

1. 初期支援(はじめのかかわり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人	チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題に	こついて取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人の情報やニーズについて、利用開始前 にミーティング等を通じて共有しています か?	0	5	0	1	6
2	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、 まず必要としている支援ができています か?	2	2	1	1	6
3	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	3	1	1	6
4	本人を支えるために、家族・介護者の不安を 受け止め、関係づくりのための配慮をして いますか?	1	1	3	1	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用する経緯をサービス計画担当者より他の職員に対して共有をし、利用者及び家族が必要とする支援を全員で考えている。また、分からないことに関しては利用者及び家族にその都度聞くようにしている。新規利用者及び家族に対して、できるだけ声掛けを行い、少しでも不安が取り除けるよう配慮を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族に対しての情報収集は不足している部分があり、本人の周りの家族に対しての支援が行えていない。 管理者が主に家族との話をすることが多いため、他の職員がなかなか家族と話す機会を持てない。本人に 対しての情報収集の少なさもあり、まだまだ本人や家族に対しての情報量が不足している。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

実際に家族と顔を合わせる機会が少なく、顔を合わせることがあってもどこまで掘り下げて話を聞いていいのか分からないとの意見があった。今後、家族とコミュニケーションがとれる機会(交流会)などを計画し、家族に対しての情報収集を行っていく。また、アセスメントシートを活用し、本人の情報を収集し共有できるようにする。

2. 「~したい」の実現(自己実現の尊重)

実施日	令和	3年12月23日	(18:00~20:30)
メンバー		6 人	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

•	14.41						
	個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

·						
	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	2	1	6
2	本人の当面の目標「~したい」がわかっていますか?	0	5	0	1	6
3	本人の当面の目標「~したい」を目指した 日々のかかわりができていますか?	0	5	0	1	6
4	実践した (かかわった) 内容をミーティング で発言し、振り返り、次の対応に活かせてい ますか?	2	2	1	1	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者とできるだけ多く話をするようにし、その時の心情や気持ちの変化に対しては記録に残すように心がけている。その中で本人のしたいことを見つけるようにし、したいことに関しては、可能な限り個別化した支援をするようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

本人の「したい」ではなく「してあげなきゃいけない」と思っている職員や、利用者の「したいこと」がなかなか把握できていない職員もおり、職員によって提供内容に差異が見られる。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

まずは、利用者本人にとっての居心地のいい場所となるよう努力をする。その中で出てきた会話の中から具体的な目標を見つけ職員間で共有する。

3. 日常生活の支援

実施 日	令和	3年12月23日	(18:00~20:30)
メンバー		6 人	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	本人の自宅での生活環境を理解するために 「以前の暮らし方」が10個以上把握できて いますか?		1	4	1	6
2	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ 等の基礎的な介護ができていますか?	3	3	0	0	6
3	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	3	1	0	6
4	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	3	1	0	6
5	共有された本人の気持ちや体調の変化に即 時的に支援できていますか?	3	3	0	0	6

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者との日々の関わりの中で知りえた暮らしぶりや気持ち・体調の変化については、その都度、ミーティングや記録などで職員間での共有をしている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

「以前の暮らし方」について、家族と話をする機会も少なくため情報収集ができず、把握ができていない。本人の声にならない声を言語化するのが、本当にこれで合っているのかと不安になりできていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

アセスメントシートのサイズが小さく書き込みにくい、利用者基本情報と一緒に綴じてありシートが取り出しにくいという意見があった。アセスメントシートは A3 サイズへ拡大し別ファイルへまとめて綴じることで、情報へのアクセスのしやすさ、書き込みやすさの改善を図る。アセスメントシートを活用し、知り得た情報を書き込んでいくよう職員全員で意識づけを行う。利用者の日々の気持ちを常日頃から考えるよう努力をする。

4. 地域での暮らしの支援

実	施	令和	3年12月23日	(18:00~20:30)
メンバ	' ''-		6人	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係 等を理解していますか?	0	4	1	0	5
2	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れ ないように支援していますか?	0	3	2	1	6
3	事業所が直接接していない時間に、本人が どのように過ごしているか把握しています か?	0	1	3	2	6
4	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域 の資源等を把握していますか?	0	0	5	1	6

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者の家族について、利用している理髪店・馴染みの飲食店、仲の良いご近所さんなどの人間関係は普段の会話から情報を得たものを職員で共有している。また、家族や介護者から送迎の際に休みの日の様子などを聞き、記録に残している。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域の民生委員や利用者を取り巻く地域の方との交流があまりなく、本人と地域との関わりあいが把握できていない。また自宅で過ごす時間の利用者の生活スタイルの把握が、本人からの話や訪問の際に見た痕跡からの把握にとどまっており、充分とは言えない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

送迎の際に挨拶をするなどして、利用者の家の周りにどんな方が住んでいるのか、どんな関わりがあるのかを職員が把握し、普段から関わりを持つようにし顔なじみの関係性ができるようにする。

5. 多機能性ある柔軟な支援

実施 日	令和	3年12月23日	(18:00~20:30)
メンハ゛ー		6人	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	自分たち事業所だけで支えようとせず、地 域の資源を使って支援していますか?	0	0	5	1	6
2	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥 当適切に提供されていますか?	2	3	0	1	6
3	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に 気づき、ミーティング等で共有することが できていますか?	1	5	0	0	6
4	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	5	0	0	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「通い」「訪問」「宿泊」サービスの使い分けについてはニーズを踏まえた柔軟な対応を行えている。本人の変化に対しては、気づいたことがあれば都度記録に残すことで職員が共有するようにしている。地域の方に対しては挨拶を積極的に行い、コミュニケーションをとるようにしている。

できていない点 200 字以内で、でき

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ほとんどの職員が地域資源をきちんと把握してなく活用ができていない。日々の変化について、細かく記録を残していないことがあり、共有できていない場合がある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

特に地域の資源を使って支援することに焦点をあて、利用者の地域資源がどこにあるのか、自宅を中心とした地図等をつくり、職員全員が利用者を取り巻く地域資源を把握できるようにする。

6. 連携・協働

実施 日	令和	3年12	月 23 日	(18:00~20:30)	

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	1	0	5	6
2	自治体や地域包括支援センターとの会議に 参加していますか?	0	0	1	5	6
3	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦 人会、消防団等)の活動やイベントに参加し ていますか?	0	0	0	6	6
4	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民 が事業所を訪れますか?	0	0	0	6	6

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

サービス担当者会議など他事業所との連携や意見交換を行っている。事業所の畑の隣で果樹を栽培している夫婦と日々の挨拶をきっかけに職員・利用者共に顔なじみとなり、お互いの姿をみて手を振ったり、栽培した野菜を交換するコミュニケーションが生まれている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

コロナ禍であるため、地域でのイベント等の情報を把握していない。地域の方の事業所への来訪受け入れ も現在行っていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

今生まれている繋がりを大切にし、途切れないよう働きかけを続ける。事業所内では簡単な勉強会を職員が集まるミーティングに合わせて開催し、小規模多機能型居宅介護事業所・地域包括支援センター・福祉 用具事業所・医療機関などそれぞれの持つ役割、また連携の在り方について基礎的な理解の習得を目指す。

7. 運営

実施日	令和 3年12月23日(18:00~20:30)	
メンハ゛ー	6人	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄		なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1	事業所のあり方について、職員として意見 を言うことができていますか?	2	1	1	2	6
2	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	2	0	2	6
3	地域の方からの意見や苦情を運営に反映し ていますか?	0	2	1	3	6
4	地域に必要とされる拠点であるために、積 極的に地域と協働した取組みを行っていま すか?	0	1	1	3	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事業所のあり方については、風通しのいい職場作りを目指しており、職員が意見を言える場を設けている。 家族や地域の方からの意見や苦情に対しては、職員全体で共有し話し合いを設けて、その都度対応をしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

策定した事業計画の周知が不十分であり、事業所の方針の理解に職員ごとの乖離が見られた。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

開放された場所作りができるよう、気軽に地域住民と交流できる場の提供を行っていく。それと同時に家族に対しても、交流会などを開催するようにし意見などを拾っていける場所作りを行う。事業所のあり方についても来年度事業計画の策定と共有を行い、ミーティング等で確認しあえる場所を設け、その都度すり合わせをしていく。

8. 質を向上するための取組み

実施 日	令和	3年12月23日	(18:00~20:30)	

メンバー 6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	3	1	0	6
2	資格取得やスキルアップのための研修に参 加できていますか	1	2	2	1	6
3	地域連絡会に参加していますか	0	0	2	4	6
4	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	3	1	1	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

法人内研修は全ての職員が参加をしている。また、一部の職員ではあるが、資格習得に向けた勉強やスキルアップのための研修に参加をしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会には参加できていない。コロナ禍ということもあり、外部研修や自己研鑽の為の研修に参加でていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

職員自身が自己研鑽できるよう心がけ、外部研修にも参加できる機会を設けていく。介助技術について、事業所内でスキルアップのための勉強会を開き、ケアの質の向上を目指す。

9. 人権・プライバシー

実施 日	令和	3年12月23日(18:00~20:30)
メンハ゛ー		6人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
0	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

新規事業所の為、前回の改善計画なし

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

	個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
1)	身体拘束をしていない	6	0	0	0	6
2	虐待は行われていない	6	0	0	0	6
3	プライバシーが守られている	5	1	0	0	6
4	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	0	6	6
(5)	適正な個人情報の管理ができている	5	1	0	0	6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者中心の生活を送っていただけるよう、職員一人一人が心がけており、何かを無理強いすることなく、 身体的な拘束、スピーチロック等の拘束は行っていない。排泄ケア時など、プライバシーに配慮したサー ビスの提供を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

成年後見制度については、ほぼ全員の職員が勉強不足である。また、成年後見制度を必要とされる人もいないため活用はできていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

今後、成年後見制度についての勉強会を事業所で行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄
事業所名	小規模多機能ホーム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	管理者	西岡佳代

法人・ 事業所 の特徴 「住み慣れた地域でその人らしい生活を送るための介護サービスを提供します」「多様化する生活ニーズに対応し、利用者とその家族を支えます」「多世代が集まる居場所となり地域住民と共に支え合います」を方針とし、自宅で生活をする利用者やその家族に寄り添い、「通い」「訪問」「泊り」を組み合わせたサービス提供を目指す事業所です。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団 体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	人	1人	1人	人	6 人	人	10 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結 果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確 認	新規事業所の為、前回の改善計画なし		・利用者本人の「したい」ということが見つけられず、職員によって提供内容に差がある。 ・家族からの話もあまり聞けていない	家族と顔を合わせる機会が少なく情報 収集が少なかったため、話ができる場 を計画する。またアセスメントシート を活用し、知りえた情報を書き込んで いくよう職員全員で意識する。そして 利用者の日々の気持ちを日頃から考え るようにする。
B. 事業所の しつらえ・環境	新規事業所の為、前回の改善計画なし		・できるだけ日中フロアは花を飾り絶やさないようにしている ・畑を作り、季節の野菜を植えている	利用者にとって、畑やプランターでの 植物を見ることで季節を感じる工夫を 行い、室内では、居心地のいい場所とな るよう空間や環境整備を行っていく。
C. 事業所と地域の かかわり	新規事業所の為、前回の改善計画なし		・コロナ禍であるため地域の方の受け 入れ等を行えていない	開放された場所作りができるよう、気軽に地域住民と交流できる場の提供を 行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新規事業所の為、前回の改善計画なし		・民生委員や地域の方との交流があまりない。	送迎の際に近隣住民に挨拶をするなど し、利用者の周りの家にどんな方が住 んでいるのか、どんな関わりがあるの かを把握し、職員も顔なじみの関係性 を作っていく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	新規事業所の為、前回の改善計画なし		・外部評価において、書面での報告のみであったため質問事項等「わからない」という回答が多かった	書面開催の他、地域住民や運営推進会 議に参加する方にも広報誌等で活動内 容を発信していく。
F. 事業所の 防災・災害対策	新規事業所の為、前回の改善計画なし			・オレンジ荘の防災・災害計画及び、 BCP計画を職員間で共有し、災害発生 時に対応できるようにする。